

子どもや若者が思いを表現しやすいまちに！

◆次期国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画

画 (問) 策定までのスケジュールは (答) 年内に市民説明会やパブリック・コメントを実施し3月までに計画を策定 (問) **子どもの声をどのように聴いたか** (答) 幼稚園、保育園、学童保育所やプレイステーション、放課後等デイサービス等に行き、事前に子どもたちが答えやすい言葉遣いや雰囲気づくりを職員と打合せなど工夫してヒアリングを実施 (問) **学校との連携がなかったことは非常に残念。中・高生へのヒアリングはほとんどできていない。よりよい計画策定のために分かりやすい資料を作りこどもパブリック・コメントの実施を** (答) 現在は検

討していない。資料はできるだけ分かりやすい表現を工夫する ◆**教育相談について** (問) 申込をオンライン化した状況は (答) 電話受付対応の時間を相談業務に充てることができるようになった※不安な思いでいる子どもや保護者にできるだけ早い対応を (問) こどもの発達センターつくしんぼとの連携は (答) 就学について担当者同士が直接情報共有し、継続的な支援につなげている (問) 昨年度の就学相談件数と今年度の特別支援教育説明会参加者数は (答) 149件、114名※年末に向けて相談件数が増えるため、今年度は就学相談申込み期限を2か月前倒しし7月末にするとのこと。必要ならば相談

国分寺・生活者ネットワーク
小坂 まさ代



員の拡充やさらなる業務の合理化と相談者に寄り添う姿勢を ◆**新庁舎移転後のひかりプラザの利活用について** (問) 庁舎移転後に空きスペースとなる執務室の利活用は (答) 現在関係課と協議検討中 (問) トライルーム拡充に際し、リラックスできる空間も検討を (答) 学習環境の検討をしながら改善に努める (問) **中・高生や若者の居場所としてユースセンターの設置を** (答) 居場所の大切さは認識。中・高生の居場所としてはプレイステーションの夕暮れカフェがある。まず、今ある施設の活用を考えていく。

ともにつくる安心、支え合いのまちづくり

■自助・共助・公助と総合的な防災力向上を

森田 『備えない防災』としてフェーズフリーをわかりやすく啓発し、身の回りで使っているモノ等を災害時にも役立てようという考え方と、普段からの備えを促し自助力向上を。

市 家庭用防災用品購入費補助事業等を通し、効果的な啓発を更に進める。

森田 避難所運営訓練を行い共助力の強化を。

市 地区防災センターの開設訓練も予定している。主体的な防災対策に携わる市民を地域の中に増やしていきたいと考える。

森田 市として非常用トイレ備蓄の啓発を行っているが普及率は未だ低い。公園等にあるマン

ホールトイレは災害時に重要な役割を果たす。整備と管理体制の拡充を図り公助力の強化を。

市 設備の拡充を進め、防災まちづくり推進地区と協定を結び、災害時含めて管理をしていく。

■**人生会議の普及啓発で高齢者の安心づくりを**

森田 人生会議(ACP)とは、病気や介護が必要になった際にどのような医療やケアを望むのかを前もって家族や医療・介護従事者等と話し

合い、共有し、当事者の意思決定を支援する取り組みである。医療・介護の連携を深める重要な取り組みだが認知度は低い。普及啓発を望む。

市 多くの方が関心を持ち取り組んでいただけるよう、普及啓発会等を開催して啓発していく。

自由民主党国分寺
森田 たかし



■西国分寺駅北口のフェンス囲い地について

森田 以前より利活用実現求めているが状況は。**市** 今年度は実証実験等の実施に向けて検討中。フェンスの簡易的な加工を行う等して、暫定利用しやすい状況にする準備を進めている。

■国3・2・8号線と周辺道路の進捗状況は？

市 国3・4・6号線から市役所通りの区間は街築工事中。期間はR7年2月頃までの予定。

森田 現庁舎移転後、市役所通りの名称を変更する際は市民の声の反映を。**市** 市民の御意見を伺い、なじみやすい名称となるよう検討する。

市によってサービスが違うのは是か非か？

1、**保育所の待機児童について**＝今年度は新定員で1才児のみ24名だが対策は？⇒定員の弾力的運用や0才児と1才児の定員調整、ベビーシッター利用支援事業の実施を進めている。

2、**プラスチックごみについて**＝一括収集と有料化の取り組みは順調か？⇒混乱はないが指定収集袋で出さなかったり異物混入もあった。○**有料化はプラごみの削減が目的**だ。今後も引き続き取り組んでいただきたい。

3、**移動支援について**＝各自治体でサービス内容に**差があるのはなぜか**？国分寺市ではだめだが国立市や立川市は通学・通勤、自宅以外から自宅以外迄すべてOKだ。⇒国の実施要綱に基づ

き**地域の実情に合わせて各自治体を実施するため**差が生じている。○**国立市**は移動支援では通勤と営業等の外出についてはサービスが利用できないが、国立市障害者(児)地域参加型介護サポート事業があり(地サポ)これではほとんど

すべてのサービスが受けられる。○**立川市**は去年市長が変わって今年の4月からすべてOKになった。**市長が変わらなくても市長が決めれば**

できるということ。市の考えは？⇒利用者ニーズの把握、事業者の状況や近隣自治体の取り組みを参考にして当市の実施方法を研究したい。

4、**国分寺学について**＝各小・中学校でさまざま取り組んでいる。地域に親しみ、地域に学び、

立憲・市民フォーラム
及川 妙子



地域を考え、地域に貢献するという。自由にやらせて**失敗も一つの学び**にして欲しい。

5、**小学校の登下校の見守りと交通安全について**＝見守り体制は変わってきているが引き続き**十分な交通安全の取り組みを**お願いしたい。

6、**中学校給食について**＝全員にあたたかい給食を提供するように研究しているそうだが**東村山市の食缶方式**が参考になると考える。**無償化**については歓迎するがアレルギーなどのやむを得ない事情以外の**弁当持参**のケースに補助が出ないのは**不公平ではないか**。

地震や物価高でも最低限生きることの保障を

能登半島地震での災害関連死や物価高で生活に困窮する方が増える中、**最低限生き**ことは保障されているのか？という視点で質問しました。

1 世界基準から見た防災体制について

高野 現計画では**トイレが「75人に一つ」**となっているが、**世界基準の「25人に一つ」**で「男女比1:3」にすべきでは？

市 国の指針に基づき「50人に一つ」に見直す。男性用を一部女性用に運用するなどしたい。

高野 携帯トイレの備蓄は想定何%達成か？
市 1日分の60%だ(高野注:3日分必要)

高野 **キッチンカー**との連携は？
市 防災専門のキッチンカー団体とつながった。

世界基準はTKB48、トイレ、キッチン、ベッド、バスが地震発生後48時間以内にそろそろ。ベッドやプライバシー保つテントは依然、課題。

高野 被災自治体ではなく被災していない自治体から支援受ける受援計画と訓練が必要では？

市 見直し、必要な準備を進めたい。

2 「生活保護のしおり」について

高野 「しおり」はカラーやイラストで権利を明記し、申請しやすいようにすべきでは？

市 よりわかりやすく伝わるよう努めていく。**親族へ知らせない対応可能と明記する**など要望。

3 非正規市職員の待遇改善について

高野 非正規職員の年収の中央値は？

無会派(れいわ新選組)
高野 ふみお



市 約301万円(高野注:正規の半分以下)

高野 正規非正規とも**最低時給1500円**は？

市 都の勧告を基にするので試算は適切でない。**退職手当あり、5年で公募しない近隣他市や海外の先進事例紹介、さらなる待遇改善を要望。**

4 PFAS～有機フッ素化合物水汚染について

高野 米国同様、国にPFASゼロ規制要望は？
市 要望書を提出することは考えていない。

市 が「出方を待つ」国は米国より最大666倍ゆるい評価。**子ども優先で市独自の学校給食地場野菜検査やPFAS除去対策、民間補助を要望。**